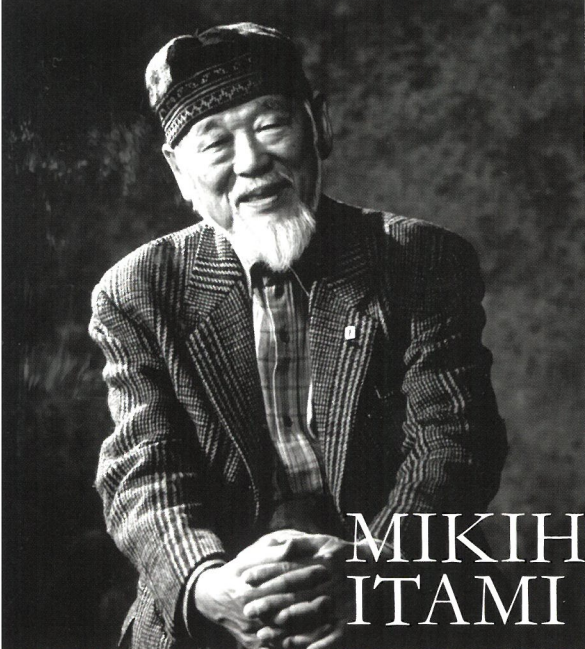




草子屋敷で
家までの
小さな旅



MIKIHIKO
ITAMI

現代俳句界の巨匠

伊丹三樹彦

本名 岩田秀雄 別号 写俳亭

プロフィール

1920年(大正9年) 兵庫県伊丹市生まれ
生後まもなくより、高校卒業まで三木市の中町(福井1丁目)で育つ

13歳より俳句を始める

1937年(昭和12年) 日野草城の「旗艦」に参加

1949年(昭和24年) 日野草城の「青玄」に創刊より参加

1956年(昭和31年) 「青玄」を継承し、以後50年間主宰を務める
超季定型・口語俳句・分かち書きを提唱し、現代俳句の普及と発展に多大な功績を遺す

1970年(昭和45年) 写真と俳句の相乗による「写俳」運動を創始

2005年(平成17年) 85歳で病に倒れるが奇跡的に復活

俳句・執筆・講演活動を継続

句集・句文集などを出版

2006年(平成18年) 「青玄」607号で終刊後、伊丹啓子発行の「青群」顧問
現代俳句協会顧問

2016年(平成28年) 三木市立中央図書館にて「三木と私」と題して講演

2019年(令和元年) 享年99歳

【句集】「仏恋」「人中」「知見」「伊丹三樹彦全句集」「存命」「一気」「阿檀」「内外」など

【写俳集】「隣人ASIAN」「隣人有彩」「隣人洋島」「ギリシアイタリア写俳便」「ナマステネパリー」「日本春景」「日本夏色」「日本秋景」など

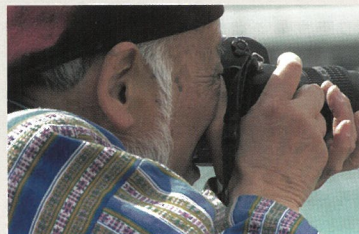
【その他】「伊丹三樹彦全文叢(全9巻・別巻1)」俳話集・句文集など多数

【受賞】現代俳句大賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞、文部大臣地域文化功労者表彰、大阪市民文化功労賞、伊丹市文化賞など他、受賞多数

【句碑】法輪寺(三木市)、神戸電鉄緑が丘駅(三木市)、須磨寺(神戸市)、婦神山公園(高知県)、伊香保温泉(群馬県)など全国に15基

俳句というのは花鳥風月というふうにい
うけれど僕はそうではなくて
俳句の三つの大きな題目は
「生と死と愛」
これが大きなモチーフ
念中に常に人間の死ということが必要
死ぬまでには人間でなくとも生きて
それには人間でなくとも生きて
つまり創作をやるということ
いつも切なく生きていくからいるいる
飛び込んでくるものは
俳句になり写真になり書になる
一瞬一瞬の生命感を一瞬の間に
書き留めるには俳句が一番向いている
俳句仲間
本音を吐いている者同士だから
生涯の友達になれる

伊丹三樹彦



伊丹三樹彦展開催記念 俳句コンテスト作品募集

2024.4.2(火) - 5.15(水) 詳しくはホームページを
ご覧ください

ギャラリートーク& 俳句コンテスト公開審査

2024.5.28(火) 14:30 - 三木市立堀光美術館

審査員:「現代俳句協会」「日本文藝家協会」各会員、「青群俳句会」顧問
伊丹啓子氏

著書展示
約100冊の著作をご覧ください。

三木市立中央図書館

MIKI CITY CENTRAL LIBRARY

AM10:00 - PM6:00

休館日:第4木曜日

〒673-0433 兵庫県三木市福井 1933-12

TEL.0794-83-1313 FAX.0794-83-1314

自筆墨書俳句・写俳作品・句碑巡礼・
日記などを展示します。

三木市立堀光美術館

MIKI CITY HORIMITSU ART MUSEUM

AM10:00 - PM5:00(入館はPM4:30まで)

休館日:月曜日

〒673-0432 兵庫県三木市上の丸町4-5

TEL.0794-82-9945 FAX.0794-82-9974

